


令和4年度 中・四国各県の研修会【報告】

【広島】県

研修会名称	令和4年度広島県小学校教育研究会夏季体育実技研修会
期 日	令和4年8月22日(月)
会 場	マエダハウジング東区スポーツセンター
内 容	実技研修 「ベースボール型ゲーム」について 「投げる」「捕る」「打つ」の基本動作の指導方法 「ベースボール型ゲームの紹介」 「段階を踏んだゲーム実践方法」 講 師 日本野球機構(NPB)・元プロ野球選手 他
報 告	<p>まず初めにキャッチボールやバッティングの練習を行った。子供が楽しみながら技能を高めるため練習法について体験した。その後、ゲーム練習を行った。ティーにボールが当たると得点、バットをフープの中に置いたら得点など、運動が苦手な子でも参加できるルールを学び、誰でも楽しさを味わうことができるような工夫について学ぶことができた。子どもの発達段階により系統的にルールを構成することの優位性について体感を交えながら学ぶことができた。</p> 

【広島】県

研修会名称	第45回広島県小学校体育研究大会(山県大会)
期 日	令和4年9月16日(金)
会 場	北広島町立大朝小学校
内 容	<p>8:20～ 8:40 受付 8:40～ 8:50 ラジオ体操朝会 9:00～ 10:40 公開授業Ⅰ,Ⅱ 11:00～ 11:40 分科会(研究協議) 12:40～ 13:00 分科会(実践提案) 13:50～ 16:30 全体講評 安田女子大学教育学部児童教育学科 教授 徳永 隆治 先生 記念講演 白砂匠庸選手(東京2020パラリンピック 陸上競技やり投げ出場) 演題「自分の障がいを力に！限界に挑戦！」 パネルディスカッション 「運動やスポーツ好きの児童生徒を増やす授業改善」 ・コーディネーター 広島大学大学院准教授 岩田昌太郎 先生 ・パネラー 広島県体育指導推進コンソーシアムのメンバー</p>
報 告	<p>授業公開では、4領域の授業について提案があった。多様な関わり方の工夫を通して、主体性、課題発見・解決力、自分の考えを表現する力を育み、深い学びを実践する体育科授業が展開された。午後からの分科会では、県内統一研究主題のもと、各市町から実践の提案がなされた。</p> <p>記念講演では、白砂匠庸選手より「自分の障がいを力に！限界に挑戦！」をテーマに、ご自身のこれまでの経験から感じられた体育科学習の素晴らしさや共生教育の必要性についてお話しいただいた。子供たちが自分らしさに気づき、可能性を伸ばしていくことができるような教師の働きかけが大切であるというご示唆をいただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>パネルディスカッションでは「運動やスポーツ好きの児童生徒を増やす授業改善」として、広島県体育指導推進コンソーシアムのメンバー(県内の小・中・高の教職員)が実践報告を行った。実践報告後は、取組に対する質疑応答が行われ、生涯においてスポーツに親しむ児童生徒を増やすために熱心な議論が交わされ、情報の共有が行われる会となった。</p>